

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

令和2年を迎えて



病院長
阿部 達也

令和初の新年を迎え、平成の時代が終了したことを改めて実感いたします。平成の土台の上に令和を築く時が来たのです。

昨年、若林病院は大きく変化しました。4月以降、診療科、スタッフ、および病床の一部が福室の本院へ移り、若林病院には回復期リハビリテーション病棟が開設されました。秋には医学部4年生の臨床実習も始まりました。また、外来透析ベッドが増床されております。

充実した診療や教育のためには本院との現実的な機能の分担が不可欠と思われまます。「急性」や「回復」という単純な図式だけではなく、若林病院独自の長を維持・発展させることが重要と考えております。この点につきましては、引き続きの皆様のご理解とご協力を賜りたく存じます。

電子カルテの更新（3月）と16床の増床（9月）を予告し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副院長
寺澤 孝幸
外科／乳腺外科科長、
患者総合支援センター長

先生方におかれましては、日頃より患者さんのご紹介などで病診連携にご協力いただきありがとうございます。当院でもさらなる病診連携の強化を目指して、昨年4月からこれまでの「地域医療連携・相談室」から「患者総合支援センター」と名称を変更し、業務の拡充を行うことでこれまで以上に迅速な対応を心がけております。当院は、たとえば婦人科の内視鏡手術のように広く遠方からの患者さんが集まる部門もありますが、基本的には地域密着型病院として、通院・入院しやすい病院を目指しております。大病院のように予約なしでは受け付けないということもありませんが、時間の余裕がある場合はなるべく予約を取っていただくと患者さんの待ち時間解消に役立ちます。そのためにも「患者総合支援センター」をお役立ていただければ幸いです。

どうぞお気軽にご相談下さい。宜しくお願い申し上げます。

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 令和2年を迎えて……………P.1
- 人工透析センター増床しました！・病院内リニューアルしました！…P.2
- 入退院支援室開設しました・世界糖尿病デーイベントが開催されました・東北医科薬科大学 若林病院 連携の会……………P.3
- ボランティア紹介・Topics……………P.4

人工透析センター増床しました！

腎臓内科科長・人工透析センター長 安藤 重輝

若林病院人工透析センター長の安藤重輝です。仙台市内において透析導入可能施設は数少なく、その一端を担う当院の透析導入患者数は30人強／年に上っております。若林区は透析施設が少ないこともあり、当院の透析患者数は増加の一途です。現在約90名に達し、完全2部体制で行っておりますが、慢性的な満床状態にありました。この現状を受け、2020年2月より第2透析室を稼働しました。手狭であった透析室から4台のコンソールを移し、新たに5台のコンソールを新設、合計31床となりました。現在の腎臓内科、透析施設の構図を鑑みると将来的にはさらなる透析室の増床が必要となる可能性が高いと考えます。今後も拡大路線を進めていく所存です。

新たな取り組みとしてオーバーナイト透析の導入も検討中です。オーバーナイト透析とは、夜間、睡眠時間を利用して血液透析を行うシステムです。夜までフルに時間活用ができること、また長時間透析は余命の延長にも繋がります。このように多くのメリットを有する透析方法ですが、仙台市内では1施設10床のみという現状です。若年の患者様を中心にご希望される方が多い中、新規導入は不可能という由々しき状態が続いております。透析医療の発展、そして患者様の切実なる思いを叶えるために当院では一刻も早いオーバーナイト透析のスタートを目標に掲げます。

仙台市内の腎臓内科で屈指の存在となった当院は2018年度には日本透析医学会教育関連施設として認定されました。今後も「腎臓内科といえば若林病院、若林病院といえば腎臓内科」と認知されるよう積極的な取り組みを続けていきます。オンリーワン、ナンバーワンの腎臓内科になるべく、更なる高みを目指します。今後とも宜しくお願い申し上げます。

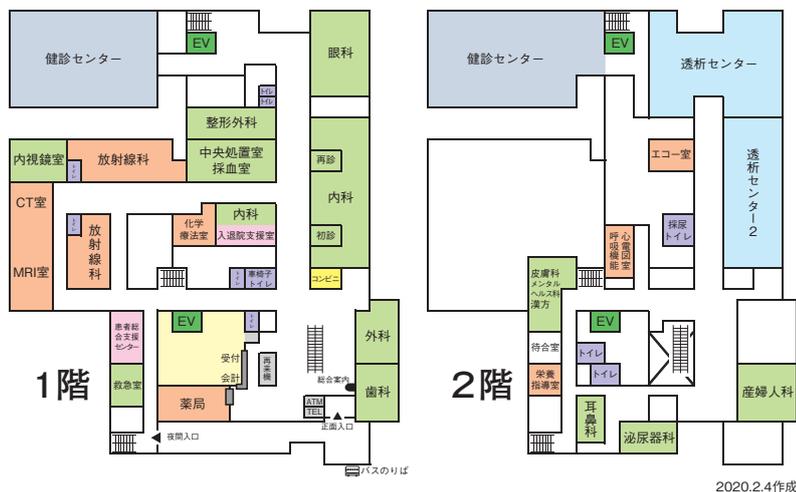


病院内リニューアルしました！

当院では、患者様がスムーズに受診できるよう、療養環境を整えております。この度、院内改修が完了いたしましたので、経過をご報告いたします。

- 2019年 9月 9日 1階リハビリテーション部を5階リハビリテーションセンターへ移動
- 2019年 9月30日 2階採血室を1階中央処置室として集約
- 2019年11月18日 2階内科外来を1階内科外来へ集約（診察室増設）
- 2020年 1月29日 人工透析センター2が完成、稼働開始

外来案内図



1階内科外来の診察室を増設し、リニューアルしました。2階内科外来が1階へ集約したことで、内科受診される患者様の動線がスムーズになりました。旧来の2階内科外来では、引き続き「漢方外来」「皮膚科」「メンタルヘルス科」の診療を行ってまいります。



入退院支援室開設しました



入退院支援室看護師長 小松 和恵

2019年11月より患者総合支援センター・入退院支援室を開設致しました。入退院支援室では、予約入院となる患者さんが安心して入院生活を送れるように、入院前から専任の看護師をはじめ、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多分野の専門職がかかわり、患者さんの診療を支援します。主に入院の説明、手術・検査の説明、内服薬の確認、社会資源利用状況の確認等を行い、事前に患者さんの状態を把握し、入院に対する不安の解消を目指します。病棟看護師とも連携し、患者さん一人ひとりにあった入院治療及び看護が提供できるように努めていきます。また、医療相談室の介入にて地域包括ケアシステムにおける地域性を考慮した、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるよう支援、地域との連携を強化しているところです。

入退院支援室は、ベッドコントロール業務の役割も担っているため、予定入院や緊急入院、転院を含んだ病床管理をしています。必要な入院治療が受けられるようベッド調整していきます。

世界糖尿病デーイベントが開催されました



2019年11月13日(水)、今年も当院で世界糖尿病デーイベントが開催されました。当院では2013年からこのようなイベントを開催しており、今年で早7回目となりました。今年も世界各地で様々なイベントやライトアップなどが行われています。世界糖尿病デーの象徴であるブルーサークルは糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発を推進するシンボルとなっています。

当院の糖尿病チームは2名の糖尿病専門医を筆頭に、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科衛生士、ソーシャルワーカーから構成されています。糖尿病療養に関する主要なスタッフには、糖尿病療養の専門家である日本糖尿病療養指導士が配置され、質の高い療養指導を行い、患者様が不安のない療養生活を送れるよう、日々診療にあたっています。イベント当日、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士が担当する相談コーナーでは、各々の知識や技術を活かして患者様の悩みや相談に対し、アドバイスなどを行いました。例年通り、カロリーコントロール弁当も販売し、全体として好評を頂くことができました。

(文責：理学療法士 小野)



糖尿病チーム

東北医科薬科大学 若林病院 連携の会



2019年11月13日(水)、若林区内外の病院・開業医の先生および医療・福祉関係機関の方々を対象に、東北医科薬科大学 若林病院連携の会をホテルメトロポリタン仙台にて開催しました。当日はお忙しい中、院外ご出席者140名、院内出席者45名の合計185名の方々にご参加いただきました。

第一部 講演会、第二部 情報交換会を行い、多職種の方々と情報交換を行うことができました。また、今年はアナンディン・バヤラト&サローラ夫妻をお招きし、モンゴル馬頭琴の演奏、踊りを披露していただきました。

馬頭琴の音色、踊りはもちろん、民族衣装も大変美しく、モンゴルの風景が会場いっぱいに広がったようでした。今年度の連携の会は、昨年度よりもたくさんのご参加をいただき、当院に対するたくさんのご意見・激励のお言葉を頂戴することができました。頂いたご意見をもとに、より一層地域に根ざした病院となれるよう職員一同努めてまいります。

2020年度は11月20日(金)を予定しております。詳細は近くなりましたらご案内いたします。



ボランティア紹介

今回は当院のボランティアの活動を紹介します。当院では、5名のボランティアのご協力により、病院運営を支えていただいています。



【受診・院内案内】 3名

正面玄関にて、患者さんがスムーズに受診できるよう、新患／再来受付のご案内のほか、病院内のご案内、車いすなど使用している方のお手伝いをいただいております。初めて来院する患者様が安心して受診できています。

【園芸関係】 2名

病院敷地内の花や植木のお世話、草取りなどのお世話をしてくださっています。四季折々の花や樹木を植えてくださり、患者様や来院される方、病院スタッフに安らぎをいただいております。季節が変わるたびにお花も変わり、それを楽しみにしている方もいます。



昨年12月には、ボランティア活動をされている5名の方と病院側の意見交換会を開催しました。1年間のボランティア活動の報告とボランティアの方が日頃感じていることとお話しいただき、病院側と意見交換を行いました。ボランティアだからこそ気付ける意見がたくさんあり、大変貴重なお話を聞くことができました。最後に病院長、事務部長、看護部長から日頃の業務に対する感謝の意をお伝えし、閉会となりました。

Topics



2019.12.23 院長サンタ



2020.1.14 陸奥国分寺薬師堂どんと祭

いきいき健康セミナー in イオンスタイル仙台卸町
2020.1.26



「あなたも慢性腎臓病 (CKD) かもしれませんよ!!」
腎臓内科 安藤重輝 医師



「腎臓を守るために 気を付けたい食習慣」
石上 管理栄養士



「運動が大事!? 腎臓リハで 伸ばそう “健康寿命”」
小林 腎臓リハビリテーション指導士
小野 理学療法士

東北医科薬科大学 若林病院
患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920